

「パネル展」

企画展

# 危機迫る中東の

## 文化遺産 「シリア編」

2016年4月11日（月）～7月31日（日）



シリア パルミラ遺跡

特別イベント開催（詳細は裏面）

ギャラリートーク：

第1回5月12日（木）松本 健

第2回6月10日（金）岡田保良

第3回7月 8日（金）西藤清秀

10：00～16：00 入場無料

閉室：土・日・祝日 ※ただし、5/22（日）、6/5（日）、7/31（日）は開室します。

国士舘大学 イラク古代文化研究所展示室 <http://www.kokushikan.ac.jp/research/ICSAI/>



シリアとイラクでは長い間内戦による混乱が続き、近年では過激派組織 IS の制圧下で次々に文化遺産が破壊されました。

2015 年にはシリアのパルミラ遺跡の破壊映像が公開され、世界中に大きな衝撃を与えました。

前回の「危機迫る中東の文化遺産－イラク編－」に続き、今回の展示では「シリア編」としてシリアのパルミラ遺跡を中心に文化遺産を紹介します。展示では、パルミラ遺跡の破壊前と破壊後の衛星画像や遺跡の模型、古代パルミラ人の彫像をご覧ください。

この展示を通して一人でも多くの方にシリアの文化遺産の現状を知っていただき、中東における文化遺産の保護に関心を持っていただければと思います。



シリア アレッポ城



シリア ボスラ円形劇場

## 特別イベント ギャラリートーク

【第1回】2016年5月12日(木) 14:40～16:10 (会場：地域交流文化センター2F イラク古代文化研究所展示室)

松本 健 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授・文化遺産研究プロジェクト代表)

【第2回】2016年6月10日(金) 15:00～16:30 (会場：地域交流文化センター2F イラク古代文化研究所展示室)

岡田保良 (国士舘大学イラク古代文化研究所 所長)

【第3回】2016年7月8日(金) 14:40～16:10 (会場：地域交流文化センター1F 講義室2)

「パルミラ遺跡を発掘して」

西藤 清秀 (榎原考古学研究所技術アドバイザー・奈良女子大学特任教授)

## 文化遺産を守るために

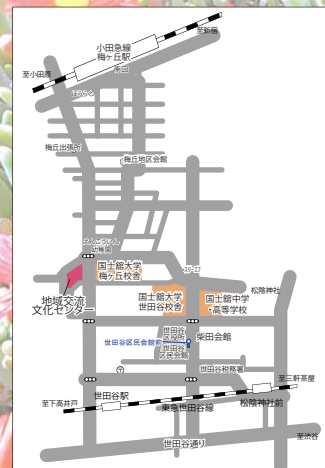
国士舘大学イラク古代文化研究所は、設立以来 30 年以上、メソポタミア研究に携わってきました。しかし近年のイラクは戦火による混乱が続き、文化遺産の略奪・盗掘が頻発しています。

2004 年から日本の国際協力機構 (JICA) がユネスコのイラク文化遺産保護国際調整委員会の提案を受け、ヨルダンにてイラク人の文化遺産に関する研修を行うべく動き出し、国士舘大学はこの事業に全面的に協力しました。さらにヨルダン考古局から、事業の実施場所としてウム・カイス遺跡が提供され、2005 年以降、実際の発掘を含む研修プログラムを実施しています。

同様の趣旨でイラク古代文化研究所を中心に、2 つの文化遺産研究プロジェクトが始動しました。ひとつは文部科学省に採択された平成 17 (2005) 年度から 5 年間にわたる私立大学学術研究高度化推進事業、もうひとつは平成 17 (2005) 年度国士舘大学研究教育支援プログラムで、どちらも「戦後イラクの社会基盤復興に活かす文化遺産学研究」を課題とし、文化遺産学の擁立とイラクの文化遺産復興に寄与することを目標にしています。

興味関心ある方々とともに古代の文化遺産と向き合い、学び、文化遺産を未来に永く伝える努力をしています。

国士舘大学イラク古代文化研究所・教授  
「国士舘大学文化遺産研究プロジェクト」代表 松本健



国士舘大学イラク古代文化研究所展示室

〒154-0022

世田谷区梅丘 2-8-17 地域交流文化センター 2F

tel: 03-5451-1926 fax: 03-5451-1927

担当: 相川

### 交通案内

・小田急線梅ヶ丘駅下車 徒歩 9 分

・東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車 徒歩 6 分

・渋谷駅南口バス乗場 18 番「世田谷区民館行」バスで

終点下車 徒歩 3 分